

11.研究発表（平成22年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（6）件 うち査読付論文 計（6）件

著者名	論文標題			
Kawano Y	Activation of a Rac GTPase by the NLR family disease resistance protein Pit plays a critical role in rice innate immunity.			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Cell Host Microbe	有	5	2 0 1 0	362-375

著者名	論文標題			
Chen L	The Hop/Stil-Hsp90 chaperone complex facilitates the maturation and transport of a PAMP receptor in rice innate immunity.			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Cell Host Microbe	有	3	2 0 1 0	185-196

著者名	論文標題			
Chen L	Analysis of the Rac/Rop small GTPase family in rice: expression, subcellular localization and role in disease resistance.			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Plant Cell Physiol	有	4	2 0 1 0	585-595

著者名	論文標題			
Fujiwara T	Sekiguchi lesion gene encodes a cytochrome P450 monooxygenase that catalyzes conversion of tryptamine to serotonin in rice.			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
J Biol Chem.	有	15	2 0 1 0	11308-11313

著者名	論文標題			
Oda T	Structure of the N-terminal regulatory domain of a plant NADPH oxidase and its functional implications.			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
J Biol Chem.	有	2	2 0 1 0	1435-1445

著者名	論文標題			
Kawano Y	The Function of Rac Small GTPase and Associated Proteins in Rice Innate Immunity			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Rice	有	3	2 0 1 0	112-121

〔学会発表〕 計（4）件 うち招待講演 計（2）件

発表者名	発表標題	
島本 功	The defensome complex in rice innate immunity	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本分子生物学会2010	2010年 4月18日	京都市

発表者名	発表標題	
島本 功	Analysis of PAMP-induced OsRac1 activation using a FRET biosensor in rice.	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本分子生物学会2010	2010年 12月7日	神戸市

発表者名	発表標題		
河野 洋治	Rタンパク質によるGタンパク質OsRac1の活性化が植物免疫に重要である		
学会等名	発表年月日	発表場所	
日本分子生物学会2010	2010年 12月7日	神戸市	

発表者名	発表標題		
河野 洋治	免疫レセプター抵抗性タンパク質の局在と機能におけるシャペロンタンパク質Hsp90の役割の解析		
学会等名	発表年月日	発表場所	
平成23年度日本植物病理学会大会	2011 3月29日	東京農工大で開催予定が中止となり、講演予稿集の発行をもって発表成立	

【図書】 計 (1) 件

著者名	出版社		
河野 洋治	共立出版		
書名	発行年	総ページ数	
低分子量Gタンパク質Rac/Ropファミリーによる植物免疫の制御機構 植物のシグナル伝達 -分子と応答-	2011	99-104	

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

【出願】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

【取得】 計 (0) 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--